

平成29年度総合教育会議 会議録

- 1 **と き** 平成29年7月26日（水） 15:00～16:15
- 2 **と ころ** 大垣市役所 市長室
- 3 **出席者** 小川敏大垣市長、山本譲教育長、河合保孝教育委員、堀哲也教育委員、山川隆司教育委員、平野晶子教育委員
- 4 **事務局** 上野企画部長、守屋子育て支援部長、安田事務局長、渋谷地域創生戦略課長、浅井子育て支援課長、山下庶務課長、細江学校教育課長、稲川教育総合研究所長、藤社会教育スポーツ課長、中井文化振興課長兼守屋多々志美術館館長、鈴木文化財専門官、大谷上石津地域教育事務所長、加藤墨俣地域教育事務所長、中山南部北部学校給食センター所長、奥田図書館長、伊藤庶務課主幹、大橋庶務課主査
- 5 **傍聴者** なし
- 6 **議 題** 教育委員会の市制100周年記念事業（案）について

開会 15:00

発言者	発言内容
山下 庶務 課長	<p>皆さん、こんにちは。本日は、大変お忙しいところ、平成29年度大垣市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私、本日の司会を務めさせていただきます、教育委員会庶務課の山下でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでははじめに、小川敏大垣市長よりごあいさつ申し上げます。</p>
小川 大垣 市長	<p>皆さん、本日はお忙しいところ平成29年度大垣市総合教育会議にご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>この総合教育会議は平成27年から開催しております。市と教育委員会とが、さまざまな問題において協議をし、両者が協力・調整して教育の課題及び目指す姿を共有しながら、連携して教育行政を進めていこうということでございます。戦後、独立委員会制度として、中立的な立場で委員会制度を進めてきたわけでございますが、時代の変化や、求められる人の姿もまた違ってくるということで、市政と教育行政というのはやはり影響し合うというのが、ある意味政治的な流れではないかなという気がいたします。地方行政それぞれのまちが抱えた課題、時々状況に応じて、教育委員会の皆さんとお話しをしていきながら、短期的な面と同時に、長期的な人づくり教育というのをしっかり考えていく意味において、総合教育会議は意味があるのではないかと考えております。</p> <p>とりわけ来年が市制100周年でございます。市制90周年には大垣ルネッサンス先賢フェスティバルということで大垣市の先賢を顕彰いたしました。100周年は未来に羽ばたく100周年にしていこうと。とりわけ未来を担っていく子供たちに夢と希望を与えるような100周年になれば良いと思います。市制100周年にむけて記念事業を提案していくと同時に、皆様方にご提案いただきたいと思いますと考えております。</p> <p>総合教育会議ということで教育を社会から独立したというよりも、社会と繋がりを持ちながら教育をしっかり進めていきたいと思っておりますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。</p>
山下 庶務 課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、次第の3「出席者の紹介」に移らせていただきます。</p> <p>お手元の会議資料1に「平成29年度大垣市総合教育会議名簿」を付けさせていただいておりますので、構成員である教育委員の皆様をご紹介させていただきます。</p>

発言者	発言内容
	<p>河合保孝委員様、堀哲也委員様、山川隆司委員様、平野晶子委員様です。続きまして、事務局を担当いたします職員につきましては、名簿をもって紹介に代えさせていただきます。</p> <p>次に、次第の4「議題」に移らせていただきます。これより進行につきましては、小川市長をお願いいたします。</p>
小川 市長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>議事に入ります前に、本日の会議につきましては、個人情報など非公開とする案件に該当するような事案がないことから、会議は公開とさせていただきます。</p> <p>はじめに、私から「市としての市制100周年についての考え方」について説明させていただき、その後、「教育委員会の市制100周年記念事業」についてご説明をいただきたいと思っております。</p> <p>先ほども市制100周年について少し触れましたが、時代の変化が大きく変わりつつある時期であります。大垣は歴史文化の溢れるまちでありますし、かつて「文教のまち大垣」「博士のまち大垣」であったり、そういったものをしっかりと受け継ぎ、また築き上げ、作り出してきた訳であります。これからの時代の変化を鑑み、また新たな時代にむけて羽ばたいていく、そういうまちづくりをしていかなければいけないと思っております。市制100周年記念事業は、昨年、大今良時さんのアニメ「聲の形」が大ヒットしました。上石津では島津豊久が登場する平野耕太さん原作の漫画「ドリフターズ」の原画展やアニメ上映会を開催するなど「アニメのまち大垣」を売り出そうとしています。80周年、90周年では、過去のアルバムであったり、過去の映像事業がありました。100周年におきましても過去のアルバムや映像を収録した事業もありますが、大垣市未来ビジョンを策定中でありまして、大垣市の未来の姿、求める姿、進むべき姿を映像化しようとしています。大垣の未来の映像はありませんので、アニメなら作れるというわけです。これからは、人工知能、ロボットの時代になってきて、あらゆる産業・暮らし・ライフスタイルそのものが、ICT抜きに語れない時代になりつつあるということでございまして、産業構造・流通構造もICTを活用したものになりつつあります。我々のライフスタイルにおきましても、スマートフォンや様々な通信ネットワークによって生活が支えられています。また、モノづくりだけではな</p>

発言者	発言内容
	<p>く介護福祉、さらには市役所の対応など、ロボットの人工知能が社会で活躍する時代になるわけですので、そういったものが活躍する将来像を作ると同時に、きっかけとなるような事業を進めていこうということでもあります。今年はイベントとして、ロボットフェスティバルを開催させていただきます。また、来年は中核的な年度でございますので、ロボットあるいは、ICT・アニメが活躍する、そしてまた、若い人たちから年配の方まで文化に親しめるような、そういうまちづくりの事業を進めていこうということもございます。将来都市像といいますのも従来の大垣城、奥の細道、あるいはまた、古墳とか色々な歴史的・文化的な伝統文化があると同時に、新たな時代に対応するようなまちづくりを検討していくという未来ビジョンを作れたらなと思っているところでございます。</p> <p>そういう意味におきまして、今度は教育委員会にお願いするということになりますと、子どもたちの人づくりということになりますので、子どもたちに夢と希望をもって進んでいただけるような社会にしていかなければいけない。一方で少子化という別の非常に大きな問題がございます。「未来の年表」という本がベストセラーになっているようですが、これからの時代というのは、この問題をどう乗り越えてやっていくかということなので、10年20年30年ぐらいいは何とかありますが、それ以降は我々も将来に対して責任があると感じています。こういったところは別途考えていかなければいけません、100周年には無理だろうなど、皆さんとご協議させていただければ大変ありがたいと思います。いずれにいたしましても、子どもたちが夢と希望をもって未来を担う人づくりができるようなきっかけとなるような事業を、教育委員会の皆さん中心に市としてもやっていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、次に「教育委員会の市制100周年記念事業」について事務局から説明をお願いいたします。</p>
山下 庶務 課長	<p>それでは「教育委員会の市制 100周年記念事業」について、ご説明させていただきます。教育委員会では、市のコンセプトを基に、次のようなコンセプトを設定いたしました。</p> <p>市民合唱団と大垣市ゆかりのソリストによる第九演奏会、子ども達による子どもの誓いの作成など、市民が主体の事業を実施し、未来へのメッセージとして発信します。</p>

発言者	発言内容
	<p>JAXA講演会、バレエダンサーによるダンス指導の開催など、子ども達の好奇心が膨らむ事業を実施し、次代を担う子ども達の夢や希望を育みます。</p> <p>1918年に発表され、大垣市と同じ100年の歴史を持つ歌劇「兵士の物語」の公演を開催し、市制100周年を祝うとともに、市民に質の高い芸術に触れる機会を提供します。</p> <p>以上のコンセプトから、教育委員会では次の4つの100周年記念事業を提案しております。</p> <p>まず、第1に、「子どもの誓い作成事業」でございます。子どもたちに、将来どんな大人になりたいか、そのためには今から何をしておくべきかということ、子どもたち自身で考えてもらい、より良い生き方の礎となる「子どもの誓い」の言葉を作成してもらいます。平成31年度以降には、各学校において「子どもの誓い」に基づいた活動を実施し、子どもたちの夢の実現に向かう力を育てていきます。</p> <p>2つ目に、「JAXA講演会」です。将来の大垣を担う子どもたちの夢と希望の芽を育むため、JAXA職員による講演会を開催します。また、ロケットに関するパネルや人工衛星の模型などを展示し、子どもたちの将来の夢について考える契機にいたします。</p> <p>3つ目に、「大垣第九演奏会事業」です。公募によって結成した市民合唱団と、大垣市室内管弦楽団、著名な指揮者、ソリストによる第九演奏会を実施し、市民が主体となって、市制100周年を祝うとともに、多くの市民が音楽活動に参加する契機として、音楽活動の振興を図るものでございます。</p> <p>4つ目に、「音楽劇『兵士の物語』公演事業」です。市制100周年に相応しい質の高い芸術文化に触れる機会を市民に提供し、市民が芸術文化に関心を持つ契機とするとともに、文化芸術の更なる振興を図るものです。「兵士の物語」はロシアの作曲家ストラヴィンスキーの代表作で「朗読・演劇・バレエ」を総合した舞台作品でございます。また、出演ダンサーによる子どもたち等へのダンス指導も予定しております。</p> <p>次に、検討中の事業といたしまして、「市制100周年記念お祝い給食事業」でございます。市制100周年をお祝いした特別献立の給食を実施いたします。料理やデザートに大垣産の食材を使用し、子どもたちに思い出に残る給食を提供いたします。その際には、子どもたちに向けた市長からの</p>

発言者	発言内容
	<p>メッセージ動画を各教室のモニターで放送し、市制100周年を迎えた大垣市の歴史や郷土に関心をもってもらいます。</p> <p>以上が、現在、教育委員会で提案・検討中の事業でございます。ご意見賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p>
小川 市長	<p>小中高生集まっていたいただいて、意見を聞いておおがきの歌を作って、みんなで歌っていただくという「みんなで作ろう！おおがきの歌」事業も進めつつあります。</p>
河合 委員	<p>昨年度の「ふるさと夢会議」において、中学生からさまざまな提案がなされました。100周年事業で1つでも形にしてもらい、夢が正夢になるようにしていただけたら良いと思います。仮に採択されなかった中学生でも夢を諦めることなく、夢に向かっていける大垣市というものが今回の「未来を創る“夢”かがやきプロジェクト」というコンセプトに合致するのではないかと思います。</p> <p>音楽劇「兵士の物語」公演事業が大垣市の100周年に相応しい音楽劇であるというコンセプトをはっきり打ち出せると良いと思います。劇の後の地域交流については素晴らしいことですので、ぜひやっていただきたいと思います。</p> <p>大垣第九演奏会事業は、市民で作りに上げて欲しいと思います。プロが入るのではなく、子どもからお年寄りまで出たいという市民の合唱団としてやっていただけると、思い出に残る事業になると思います。</p>
山本 教育長	<p>「ふるさと夢会議」で出た議案は、実現するのが難しいものが多いですが、100周年に向けて「みんなで作ろう！おおがきの歌」を進めておりますので、これは江並中学校が提案された「大垣のテーマ曲作成」に関わってくるかなと思います。</p> <p>音楽劇「兵士の物語」については、直接的に繋がるかわかりませんが、あらすじから、過去も大事だけれども将来を見据えながらどう進んでいくか、これからの地域とか自分とか将来を考えていく1つの材料になると思っています。</p>
小川 市長	<p>子どもたちが描いた絵画を見ると、ロボットやロケットの絵がすごく多いです。子どもたちはその辺りの期待感が大きいので、ロボットやドローンを使った事業も考えています。</p> <p>音楽劇については、80周年は音楽会で、90周年は歌舞伎でしたので、100周年は音楽と総合芸術でミュージカルが良いなど、また実際に人気もあ</p>

発言者	発言内容
	<p>るということです。</p> <p>大垣第九演奏会は、80周年、90周年と事業をやりまして皆さん熱意を持っておられますので、反映していきたいと思っています。</p>
<p>山川 委員</p>	<p>「みんなでつくろう！おおがきの歌」の話がありましたが、大垣第九演奏会時にお披露目できたら良いと思いました。</p> <p>音楽劇は兵士とバイオリンの話ですが、大垣ゆかりのバイオリニストがいっぱいいますので演奏していただければ、この地域でも世界の音楽家になる、あらゆる可能性があるということを知ってもらえると思います。</p> <p>子どもの頃、アポロの月面着陸をワクワクして見ていました。それを見て物理をやらなければいけないという気持ちから、物理・数学が好きになりました。JAXA講演会では、実際の宇宙飛行士に講演していただいて宇宙の雄大さを講演していただくのが良いのではないかと思います。</p>
<p>小川 市長</p>	<p>JAXA講演会は以前もやりましたが、やはり子どもたちの関心が高いです。</p>
<p>山本 教育長</p>	<p>宇宙飛行士に来ていただきたいと思っていますけれども、都合がつくかどうかという問題があります。</p>
<p>安田 局長</p>	<p>以前、大垣市の学校とアメリカで訓練中の飛行士がテレビ会議システムを使って交流をしたことがあります。その方が今度、国際宇宙ステーションのミッションに参加されますので、その方が来て頂けたら非常に良いなと思っています。</p>
<p>堀 委員</p>	<p>JAXAの講演会も、より多くの方に参加していただきたいと思います。</p> <p>パネル展は少し期間をとって展示していただけたら良いと思います。</p> <p>大垣第九演奏会や音楽劇についても、質の高い文化芸術に触れ合う機会がないと思いますので、多くの方に参加していただきたいです。</p> <p>小さいお子さんは、その時には分からないことが多いかもしれませんが、将来的に「こんな劇を観たな」ということが残れば良いと思います。</p> <p>子どもの誓い作成事業は、将来の夢を描くということは非常に大切なことだと思いますし、子どもの誓いを作成するにあたって、いまの子どもはどんなことを考えているか、夢を共有しながら大人として出来ることは何か考えることも大切だと思います。</p>

発言者	発言内容
山本 教育 長	<p>子どもの誓い作成事業は、児童会や生徒会の話し合いを通じて、各学校集まって検討しながら、合わせて子どもたちにどんな期待をしていくのか、どんな子どもたちになって欲しいのか、大人の意見を反映させる場も設けながら子どもの誓いを作っていければと思っています。</p> <p>また、誓いを作るだけではなく、100周年を境に「これから私たちはどうしていくのか」ということをはっきりさせながら、学校の活動の中で、どの学校も大事にしていけるものを作っていきたいと思っています。</p>
小川 市長	<p>子どもたちの意思を尊重する教育が大切ですし、自分たちの立てた目標や夢に向かって努力していくことを進めていく、そういうことで子どもの誓いを作成していくということですね。</p>
平野 委員	<p>お祝い給食事業で、城下町大垣らしさを表す和菓子をデザートとして取り入れてはどうかと思いました。エリアによって違うお菓子を提供すると面白いと思います。さらに、和菓子を作る機会があれば良いと思いました。食べることが大切だという市長さんからのメッセージがあると更に良いと思います。</p> <p>大垣第九演奏会では、音楽とアート、ファッションなどとコラボレーションして大垣の四季を表現したり、「繊維のまち」でもあるので布などを使ってバックスペースに表現できたら良いなと思いました。また、大垣出身の辻彩奈さんに演奏していただけたら、とても豪華な100周年になると思います。</p>
安田 局長	<p>辻彩奈さんは、今年の11月19日には大垣市スイトピアセンター音楽堂で演奏していただきますし、来年は100周年事業ではないですが、上石津昭和音楽村で演奏される予定があります。</p>
小川 市長	<p>お祝い給食事業で大垣の名物の和菓子を出していただくのも良いですし、和菓子屋さんにも創作菓子を新たに作っていただいて、提供してもらっても面白いかもしれません。子どもたちは食べることは好きですので。また、できるだけ大垣産の食材を使っただけると良いですね。</p>
河合 委員	<p>一度に沢山提供出来ませんので、エリア別に提供するアイデアは良いですね。</p>
安田 局長	<p>お祝い給食の時に、市長からのメッセージ動画を流すことは、子どもたちに100周年を知っていただく機会として良いかなと思います。</p> <p>また、和菓子については、給食会計の中で提供できないか検討してみたいと思います。</p>

発言者	発言内容
小川 市長	教育関係以外でも何か100周年事業についてご意見ありますか。
河合 委員	<p>NHKラジオの「子ども電話相談室」が非常に面白いのですが、虫や魚、鳥などについての質問が多いなかで、今年からロボットについて相談が出てきました。やはり、男の子を中心にロボットについて子どもは興味がありますので、ロボットに関する事業があると良いと思います。</p> <p>また、20年ほど前に大垣青年会議所が、「日本文化デザイン会議」を開催しました。それは色々な文化芸術にたずさわる方や俳優さんなどに来ていただき会議をしました。そして、夜に居酒屋に来て頂いて、市民の方に自由に入っていただいて車座になって座談会を行いました。今回の事業で、JAXAの宇宙飛行士の方、辻彩奈さん、音楽劇の俳優さんなどに来ていただいた場合に、そういった市民との座談会などで目の前で触れ合える機会があると、大垣市の100周年記念事業の基本理念の「市民協同により、子どもから大人まで、幅広い市民が参加する」という観点からも良いと思います。</p>
小川 市長	<p>そうですね。受けていただけるかが問題ですが、やっていただけたら面白いですね。</p> <p>それでは、これからの教育行政についてご意見をいただきたいと思います。</p>
河合 委員	働き方改革について、教育行政についてもぜひ取り組んでいただきたいと思います。
山川 委員	1つのものを極めるのも大切ですが、総合的な人間形成が非常に重要だと思います。特に、核家族化が進んで、過去・現在・未来の世代に対する思いやりが無くなりつつあります。孫がおじいちゃん、おばあちゃんとのように関わり合って思いやりが出来上がるかということや、友達との関わり、そういう教育が必要だと思います。関わり合いがない方は、地域に帰ってこないという実感があります。地域に帰ってこれば、友達の輪があって、おじいちゃん、おばあちゃんがいてということが、良い成績をとることよりも、重要だと思います。世代を越えた、地域に広がる思いやりの心を熟成することが教育行政で重要だと思います。
小川 市長	スペシャリストとして育てていくということも大切ですが、スポーツ選手などは30歳ぐらいでピークを終えて引退したときに、残りの人生50年あるが、総合的な人間形成をやってこなかったために困ったということもあります。国際化になると皆が同じような思考になるため、地域文化

発言者	発言内容
	を創造できない人間はむしろ国際社会に通用しないと言われます。改めて地域文化をしっかりと身に付けることが大切だと思います。
堀 委員	超少子高齢化で人がいなくなっていくなかで、「ふるさと大垣科」は非常に良い事業だと思います。児童生徒だけではなく、広く市民に大垣の良さを広めることも重要です。児童生徒が地域での役割みたいなものを認識しながら、地域との交流を深めて、役割を担っていかなければいけないことを教えていくことも非常に重要だと思います。地域のみんなで児童生徒を育てる風土を醸成していくことも大事だと思います。
平野 委員	インターネット社会になって、人との関わり合いが減ってきたことや、一人っ子のお子さんが増えているので、縦割り教育の機会を増やして欲しいと思います。年上の子や年下の子と触れ合うことで、けんかをすることもあるかもしれませんが、それも大事なことですし、年上の子に憧れを持ったり、年下の子のお世話が出来たりという関係がとても大切だと思います。
小川 市長	学校では、横の関係はありますが、縦の関係はあまり無いかもしれません。そういう意味では部活動というのは大きな役割を果たしていると思います。
山本 教育長	全国のアンケート調査の中で、大垣市は地域の行事に参加している割合が高いので、そういう場で縦の関わりがあると思います。そういう大垣の良さを伸ばしていきたいと思います。
小川 市長	少子高齢化は難しい問題ですね。その他にも海外から移住してくる子どもたちへの対応など、教育の現場もいろいろな問題がでてくると思いますが、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。 それでは、未来に羽ばたく100周年にしたいと思います。ぜひ、人づくりの方に力を入れていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
山下 庶務課長	ありがとうございました。これを持ちまして、本日の会議を終了させていただきます。 本日は、ご出席賜り、誠にありがとうございました。

閉会 16:15